

## 事業報告

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

### 事業の経過及びその成果

平成25年度のわが国経済は、政府の経済政策等の効果と期待から円安・株高が進行したこと等により、企業収益の改善や個人消費の持ち直しで、緩やかな回復基調で推移しました。

我が国の国内定期航空旅客数は、経済状況の好転を反映して、前年比(暦年)7.2%の増加となっております。

当空港におきましては、スカイネットアジア航空(ソラシドエア)とAIRDOが、当空港に新規就航したものの、関西国際空港のLCC(格安航空会社)の影響に加え、当空港に就航する機材が小型化したことで、乗降客数は年度約235万人(前年比約△2%)となりました。

集客面では、宝さがしや空の日、クリスマス、搭乗者2,000万人セレモニー、開港8周年など季節、時期に併せて魅力あるイベントを開催いたしました。また、設備面では、顧客利便増進等のため、FIDS(フライト情報表示システム)更新や7番搭乗橋増設等を行い、混雑緩和による快適性の向上等が実現いたしました。

これらにより、旅客ターミナルビルの利用者総数は270万人、駐車台数は27万台、テナント各社の売上総額は1,490百万円となりました。

以上のような状況の中で、経費の削減にも努めた結果、当期の売上高は1,621百万円、営業利益は255百万円、当期純利益は86百万円となりました。

貸借対照表の要旨

(平成26年3月31日現在)

(単位:百万円)

資 産 の 部		負 債 及 び 純 資 産 の 部	
流 動 資 産	667	流 動 負 債	377
固 定 資 産	4,951	固 定 負 債	2,288
有 形 固 定 資 産	4,933	退 職 給 付 引 当 金	0
無 形 固 定 資 産	11	原 状 回 復 費 用 引 当 金	21
投 資 そ の 他 の 資 産	7	そ の 他	2,266
		株 主 資 本	2,999
		資 本 金	1,726
		資 本 剰 余 金	423
		資 本 準 備 金	423
		利 益 剰 余 金	850
		そ の 他 利 益 剰 余 金	850
		評 価 ・ 換 算 差 額 等	△ 46
		繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	△ 46
資 産 合 計	5,618	負 債 ・ 純 資 産 合 計	5,618

損益計算書の要旨

( 自 平成25年4月1日  
至 平成26年3月31日 )

(単位:百万円)

科 目	金 額
営業収益	1,621
営業費用	1,365
営業利益	255
営業外収益	0
営業外費用	77
経常利益	178
特別利益	
特別損失	38
税引前当期純利益	140
法人税, 住民税及び事業税	46
法人税等調整額	7
当期純利益	86

25年度 有形固定資産の明細

(単位:百万円)

区分	資産の種類	期首 帳簿価額	当期 増加額	当期 減少額	当期 償却額	期末 帳簿価額	減価償却 累計額	期末 取得価額
有形 固定 資産	建 物	4,583	361	29	263	4,651	2,032	6,684
	構 築 物	242	15	-	39	217	306	524
	工具器具備品	19	60		16	63	197	260
	建設仮勘定	239	222	461	-	-	-	-
	計	5,083	659	491	318	4,933	2,536	7,469

当期増加額の主な内容は以下のとおりであります。

コンコース増築工事

建物  
構築物

356 百万円

13 百万円